

アグリ筑西 2021 9月号

まだまだ暑い日が続きますので、
体調管理に気をつけましょう。

県西農林事務所 経営・普及部門
(筑西地域農業改良普及センター)
筑西地域農業改良推進協議会 発行
Tel:0296(24)9206
Fax:0296(24)6979



筑西地域農業改良普及センターHPへアクセス! ↑

先進農家研修(外国人雇用型大規模園芸経営)を実施しました!

7月30日に、外国人技能実習生を導入または、これから導入しようとしている筑西市、桜川市の施設園芸中心の生産者4名を対象に先進農家研修を実施しました。下妻市の中里一秀 農業経営士を訪問し、外国人を導入した背景や現在の経営への沿革について研修しました。中里農業経営士は、夫婦と外国人技能実習生4名で、メロンやスイカ等のウリ科野菜の他に葉物野菜を組み合わせ、周年出荷をしています。研修後には、参加した生産者から「大変勉強になった」「刺激を受けた」などの感想が聞かれました。



圃場視察の様子



冬瓜圃場



アールスメロン圃場

再生稲(ひこばえ)を早めに耕起し、畦畔除草に取り組みましょう

筑西地域では、昨年と今年2カ年続けて発病程度は低くなったものの、依然としてイネ縞葉枯病の発生が見られています。抵抗性品種の作付け拡大が最も有効な対策手段ですが、今後の対策として、来年のイネ縞葉枯病の発生を抑えるために、ウイルスを媒介するヒメトビウンカの生息密度を減らしましょう。

ひこばえに発生した

イネ縞葉枯病



再生稲(ひこばえ)はヒメトビウンカの生息地となるだけでなく、ウイルスの伝染源となるため、田んぼは早めに耕起しましょう

冬場も生育している

イネ科雑草



ヒメトビウンカは、幼虫が畦畔や農道のイネ科雑草の中で越冬します。越冬場所となる雑草をなくせば、ヒメトビウンカが冬を越すことができず、来春成虫になる数を減らすことができます。冬場でも枯れずに生育するイネ科雑草は除草剤でしっかり枯らしておきましょう。

第2回農業学園「病害虫防除講座」開催しました！

7月30日(金)に農業大学校園芸部(坂東市)で、第2回講座「病害虫防除講座」を開催しました。講座では、病害虫防除の基礎 および 農薬の適正使用について学びました。その後、ワークシートを用いて、受講生自身が経験した病害虫やその対策についてまとめました。



学園生から頂いた意見を参考にさせて頂きながら、よりよい講座を作っていきたいと思っております。

～学園生からの声～

- ・自分が栽培している作物の病害虫対策の参考になった
- ・生産者の病害虫防除例を知ることができた。様々な事例をもっと知りたい

講座のポイントまとめ

☆病害虫防除のポイント

- ・観察 → 見つける
- ・診断 → 原因究明
- ・防除 → **適期に行う**

☆農薬使用のポイント

- ・ラベルをよく確認する
- ・使用方法等を守る
- ・記録する
- ・保管(使用後の洗浄)
- ・ドリフトに気をつける

次回講座	「土づくり&育苗講座」
日程	8月31日を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、延期することになりました。
ところ	結城農業改良普及センター
問い合わせ先	県西農林事務所経営・普及部門(担当:田山・小林) TEL : 0296-24-9218

新任・退任農業三士のご紹介

茨城県では、地域農業の振興を図るため、優れた農業者や地域農業の担い手となる農業者を農業三士(農業経営士、女性農業士、青年農業士)として認定しています。

去る、7月15日にヒロサワシティ会館において、認定式並びに退任式が開催され、当管内からは、新たに5名の方が認定され、4名の青年農業士が退任されました。

新任農業三士の皆さん



柳田裕司 氏
農業経営士



鈴木結花 氏
女性農業士



倉持純一 氏
青年農業士



大塚智也 氏
青年農業士



本橋裕太 氏
青年農業士

退任された農業三士のみなさん

- 藤倉氏 青年農業士
- 吉野氏 青年農業士
- 吉澤氏 青年農業士
- 石島氏 青年農業士

認定されました皆様のご活躍を期待しております。
また、退任されました皆様ありがとうございました。

薬剤散布に用いる散布機の噴口の整備は定期的！

噴口の整備点検は非常に大切です。日々の消毒に使う、動力噴霧器やスピードプレーヤーについている噴口の中には噴板が入っています。噴板は液体を細かく拡散し薬液をかかりやすくしています。しかし、日々の散布で噴板の穴は徐々に削れて、広がっていき数年たてば本来の性能は発揮できなくなります。噴板は一枚あたり300円前後と安価ですので、機器を購入してから交換していないという方はすぐにでも交換をおすすめします。最寄りの機械店や農機センターにお問い合わせください。

普及員のひとごと 中島 佳功

私ごと、ロンドンオリンピックの年、入院していた病院に表敬訪問に来たレスリングメダリストに励まされた事を思い出します。東京オリンピックがコロナ渦でなければ、事前キャンプ合宿での農産物による激励や海外客への農産物PRができたのに・・・

世界に向けた攻めのPRは重要ですね。